

TGM

多彩な縦型すり加工機

意匠性高い内装ガラスに

TGM(東京都千代田区、弘中崇社長、03・6261・1260)は、イタリア・フラテリペッツ社製ガラス用縦型すり加工機のエントリーモデル「Zephir(ゼフィール)」シリーズ、多機能モデル「Mistral(ミストラル)EV」シリーズを販売している。フラテリペッツ社は1970年創業。石油化学、繊維業界への建築資材サプライヤーとして事業を開始した。ガラスすり加工で30年以上リーディングカンパニーとして製品を提供している。設備の設置スペースを削減できる縦型すり加工機に特化しており、120カ国以上に500台以上販売してきた。高い意匠性が求められる内装・装飾ガラスの加工が可能で、多様なニーズに応える。

「ゼフィール」シリーズは、「Z120」(ガラス最大高さ1200ミ)、 「Z180」(同1800ミ)の2種あり、一つまたは二つの吐出ヘッドを装備可能。通常の全面すり加工、彫り加工(エンブレービング)といったベーシック

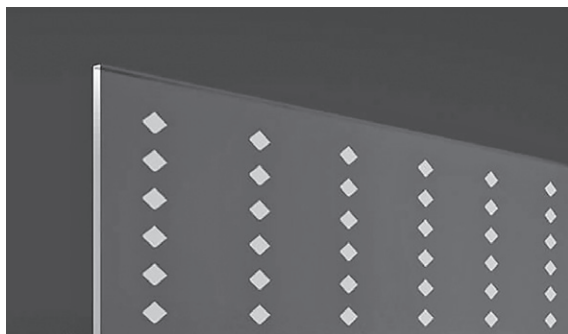
な加工に対応しており、高い加工品質を誇る。競争力がある価格とミニマムな機能を持つエントリーモデルで、装飾分野で多くの顧客に好評だ。「ミストラル」シリーズは、「120EV」(ガラス最大高さ1200ミ)、 「180EV」(同1800ミ)、 「260EV」(同2600ミ)の3種。全面すり加工、彫り加工など「ゼフィール」シリーズの機能に加え、グラデーション機能(濃淡を調整したサンドブラスト加工)を実装し、ガラス板上を最大50のエリアに分けた加工

プログラムを設定できる。ドア、パーティション、鏡、その他の高い意匠性が求められる内装・装飾ガラスの加工が可能で、特に欧米では多くの需要があり、多様なニーズに応える。加工時間を短縮して大量生産が求められる場合



フラテリペッツ社製ガラス用縦型すり加工機「ゼフィールZ180」(上)と「ミストラルEV180」

「アマコールステンシル」を用いたすり加工例



い。設備内部の静電気の帯電を防止でき、加工への悪影響を防げる。

フラテリペッツ社は、特殊な模様やパターンをすり加工する際に必要となる金属性の版を「Amacor(アマコール)ステンシル」の名前で提供している。「アマコ

ール」をガラス上に重ねてすり加工に投入することで、手軽に意匠性が高いデザインを実現でき、業者の技量による加工品質の差もないため、常に安定した生産ができる。ガラスへの刻印に特化したマニュアルマーキング機も完備。ロゴ、規格などのマークをガラスに手軽に刻印できると好評だ。最高品質の専用研磨剤「ALOX(酸化アルミニウム)」も供給しており、設備とともに高い評価を得ている。

作業者の安全や環境を保護する専用のフィルターシステムを搭載しており、新しくフィルター設備などを設ける必要がない。

の一時停止と再開をすることができ、